学校番号	328

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　高等学校　言語文化」　（数研出版）						
副教材等	わかる・読める・解ける key&point 古文単語 330　四訂版　（いいずな書店） 改訂版読解をたいせつにする要点プラス体系古典文法　（数研出版） リード古文１（基礎編）　（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な時代や歴史的背景を持つ古典作品に触れ、古文や漢文の世界に親しみましょう。
・古典を読むために必要な語彙力や文法の知識を身につけ、古典特有の表現も理解しましょう。
・文学史的事項で作者について知り、時代背景を確認して古典作品への理解をより深めましょう。
・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、共通点や相違点から作品や文化への理解を深めましょう。
・予習と復習を欠かさないでください。本文を読み、分からない単語を調べることは予習の基本です。復習は授業を思い起こして本文を読み直し、他者に教えるつもりで説明できるようになりましょう。
・提出物は期限厳守。定期考査に向けては、学習計画を立てて勉強してください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、古典の世界に親しみ、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・古典に親しむために作品や文章の歴史的・文化的背景の理解を深め、また、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者へ自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類や構成、文体など表現の仕方を工夫することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化に対する理解とともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、知識を増やし、適切に使っている。また、古典の世界に親しむため、作品や文章の歴史的・文化的背景の理解を深め、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解できている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者へ自分の思いが効果的に伝わるように表現の工夫をしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文の特徴を理解する。 ［教材］ 「言語文化と古文」 「〔古文チェックポイント〕(古文の特徴)」	a:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c:我が国の言語文化について知り、言葉を通して社会へ目をむけ、自己を見つめなおそうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート
	古文の世界を楽しむ。 ［教材］ 「児のそら寝」『宇治拾遺物語』	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート
	古文作品を通して、現代にも生きる教訓を学ぶ。 ［教材］ 「つれづれなるままに」『徒然草』	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	漢文の特徴を理解する。 ［教材］ 「言語文化と漢文」 「入門一」 「入門二」	a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c:我が国の言語文化について知り、言葉を通して社会へ目をむけ、自己を見つめなおそうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート

	故事成語の特徴を理解する。 ［教材］ 「漁夫之利」『戦国策』	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート
	漢詩の特徴を理解する。 ［教材］ 「静夜思」	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：由来について諸説ある漢語について粘り強く調査に取り組んでいる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	作品を通して、時代背景を探る。 ［教材］ 『羅生門』	a：文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
2学期	比べ読みから相違点を見出し、考察する。 ［教材］ 「芥川」『伊勢物語』 「在原業平中将の女、鬼に噉らはるる語」『今昔物語集』	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：粘り強く『伊勢物語』と『今昔物語集』の違いを抽出し、学習課題に沿って文章表現についての話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	現代の自分に引きつけ考えを深めたり、広げたりする。 ［教材］ 「筒井筒」『伊勢物語』	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：登場人物の行動や状況について積極的に自分と引きつけて捉え、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	平安宮廷文学の世界を見つめる。 ［教材］ 「ありがたきもの」『枕草子』	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している b[書]：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 c：積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、学習課題に沿って現代語の随筆を書こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート

	故事成語から現代に生きる教訓を学ぶ。 ［教材］ 「矛盾」『韓非子』	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：故事成語を学習する中で、自分の考えや価値観と比較し、自己を見つめなおそうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	作品を通して、歴史的背景を探り、解釈を深める。 ［教材］ 「鶏口牛後」『十八史略』	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	「ことば」を吟味する。 ［教材］ 『舟を編む』	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート
	詩歌の特徴を理解する。 ［教材］ 『I was born』	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができている。 c：我が国の言語文化に特徴的な語句が持つ文化的背景を積極的に調べ、学習課題に沿って発表しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	短歌・俳句の特徴を理解する。 ［教材］ 「短歌」「俳句」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c：学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。また、積極的に俳句の作成に取り組み、見通しを持って、句会の開催に参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
3学期	仮名日記文学の特徴を理解する。 ［教材］ 「門出」『土佐日記』	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c旧暦や古時刻、旧国名といった古典常識について積極的に調べ、学習課題に沿って理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート

	作品を通して、戦乱化下の人間像を考える。 ［教材］ 「祇園精舎」『平家物語』	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:「義仲・巴の愛情」「義仲・兼平の愛情」の違いについて粘り強く差異を抽出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	漢詩の語句に着目し、当時のものの見方、考え方を探る。 ［教材］ 「月夜」	a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:由来について諸説ある漢語について粘り強く調査に取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート
	文章の種類を学び、文学作品を味わう。 ［教材］ 『山月記』	a:文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ~~・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間~~
- ・書くこと　…　（　５　）時間
- ・読むこと　…　（　【古典】４５／【近代以降の文章】２０　）時間